

板橋区議会議員

大野はるひこ

小竹向原駅1番出口 エレベーター設置が決定！

初当選から19年、皆様とのお約束を1つ実現できました！！

東京メトロとの協議について

令和8年6月に衆議院議員下村博文事務所を訪問し、東京メトロの関係者の方々から小竹向原駅西側エレベーター設置の件について報告を受けました。これまで、私が初当選以来訴え続けてきた1番出口側エレベーターの設置が実現されることが確認できました。

同計画では小竹向原駅1番・2番出口側改札からホームに接続する11名乗りエレベーターが2台新設され、改札階から地上へは、東京メトロ北側用地(1番出口と2番出口の間)に20名乗りエレベーターが新設されます。このエレベーターの設置により、駅西側のバリアフリー化が完成するとともに、利便性も向上します。

計画では2026年から2028年は設計・調査・協議、2028年後期から工事を開始し、2030年代半ば頃には完成する予定

です。これまで小竹向原駅のエレベーター設置にご理解ご協力を賜りました関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。



小竹向原駅におけるエレベーター設置予定工程

	年 度			
	2026	2027	2028	2029～2030年代半ば
設計・調査・協議	←	設計・調査・協議	→	
工事				→ 工事

都立城北公園再整備について

都立城北中央公園内陸上競技場及び石神井川調節池上部利用については、板橋区議会・練馬区議会と連携しながら、地域の皆様のご要望を踏まえ、東京都との協議を継続しています。

現在も陸上競技場の再整備や調節池上部利用について、東京都と調整を進めており、今年中には下村博文衆議院議員、高木啓衆議院議員、地元の都議会議員や自民党区議団を交えた進捗確認・意見交換の場を設ける予定です。引き続き、地域の皆様の声を東京都へ届け、早期実現に向けて取り組んでまいります。



住民の皆様の声が大切です

陸上競技場の再整備については、令和7年度に調査予算の計上、令和9年度から本調査、令和10～11年度を目途とした工事実施など、具体的なスケジュールが東京都より示されました。競技場レーン数については7レーンまたは8レーンを基本とし、調査結果を踏まえた上で最終決定される予定です。

また、これに併せて城北中央公園全体の魅力向上に向け、管理棟の再整備やバーベキュー場の整備、民間事業者による憩いの場の創出など、公園の有効活用についても要望しています。舎人公園や砧公園などでは、飲食施設や滞在空間の充実が進んでおり、城北中央公園についても同様の魅力向上を図るため、利用者や企業などに対して需要調査を実施することなどを東京都へ求めました。

石神井川調節池の上部利用については、令和18年度の完成を予定していますが、令和13～15年度を目途に社会ニーズを踏まえた活用内容の再検討が行われる予定であり、地域の声が反映されるよう引き続き働きかけてまいります。

誰もが住んでいて良かったと思える街へ

私は、板橋区議会議員として、板橋で生まれ育った一人だからこそわかる地域の課題に真正面から向き合い、取り組み続けてきました。板橋区が掲げる「ひと・まち・みらい」の理念と、将来像である「未来をひらく 緑と文化のかがやくまち“板橋”」を実現するためには、この街が持つ魅力や資源を最大限に活かし、地域の皆様が本当に必要としているものを一つひとつ形にしていくことが何より大切だと考えています。

また、私は消防団員としても長年地域防災に携わってきました。木造住宅が多い板橋区では、大規模災害への備えや避難場所・避難経路の整備など、まだ多くの課題が残されています。さらに、子育てしやすい環境づくりや公園・公共施設の充実など、未来への投資も欠かせません。現状維持では街は発展しません。板橋区が「住み続けたい街」「子どもたちに誇れる街」であり続けるために、目の前の課題を着実に解決しながら、未来を見据えたまちづくりを皆さんとともに進めてまいります。

この街を誰よりも好きだからこそ、SNSを通じて情報発信をしています。

SNS

facebook



Instagram



X



**板橋区が安全安心でもっと
住みやすく。
子育て世代、高齢者など
全ての区民の皆様のために
全力で取り組みます。**

自由民主党板橋区議会議員 大野治彦
〒173-0037

東京都板橋区小茂根4-4-10

TEL/FAX 03-5995-9073

区政に関するご意見・ご要望をお聞かせ下さい